

井上科学振興財団が各賞贈呈式

井上科学振興財団は2月4日、井上學術賞・井上研究奨励賞、井上リサーチアワードの贈呈式を東京・大手町のKKRホテル東京で実施した。

贈呈式では、井口洋夫理事長のあいさつの後、川端文科相の代理で磯田文雄研究振興局長が、また金澤日本學術会議会長の代理で鈴

村興太郎副会長が祝辞を述べた。

懇談会での乾杯は、長倉

三郎・日本学士院前会長が90歳という高齢にもかかわらず、力強い声で音頭をとり杯を挙げた。

井上學術賞の受賞者は上

村匡氏(京大大学院教授)、魚住泰広氏(分子科研教授)、柏川伸成氏(国立天

文台准教授)、藤澤彰英氏

(九大教授)、渡邊嘉典氏

(東大教授)の5氏で、金



長倉三郎氏

メダルと賞状、副賞200万円を贈呈した。

若手研究者を対象とした

井上研究奨励賞の受賞者は、新幸二氏(阪大)、安部聡氏(名大)など30氏で、



磯田文雄氏

銅メダルと賞状、研究奨励金50万円を贈った。

さらに井上リサーチアウ

ワードは、緒方芳子氏(東大大学院准教授)、五島剛太氏(名大高等研究院特任准教授)、松永茂樹氏(東大大学院講師)の3氏で、賞状と研究助成金10000万円を贈呈した。

そのほかの久保亮五記念事業、国際交流事業については、すでに援助を実施している。